

年頭のご挨拶

「病気にならないための病院」を謳って

皆様 明けましておめでとうございます。

昨年は、物価高や外交問題などの社会情勢で揺れた年でした。私たちの身の周りでも、2025年問題として後期高齢者が人口の5分の1を占め、医療費や介護費用の増大といった社会問題が顕在化し、就労人口の不足と若年者の負担増が社会全体に大きな課題となっています。私たちは、これまでのあり方を変えていかないと社会生活の維持が難しくなってきたのです。

勝木グループは1984年の北陸体力科学研究所創設時から、予防医学の重要性を認識して地域社会の健康課題に取り組んできました。やわたメディカルセンターは、2001年のオープン時に病院のミッションを「病気にならないための病院」と掲げ、治療のみならず、今後の疾病予防介護予防こそが21世紀の医療機関の使命であると謳いました。

今後、ますます少子高齢化が進む中、一人も取り残すことなく、自立した健康的な生活が営めることが、持続可能な社会を築いていく礎になります。

私たちは、昨年7月に新しく立ち上げた、高齢者救急応需から早期自宅復帰を支援する「地域包括医療病棟」をフル活用するほか、予防医学、急性期医療、包括期医療、在宅支援を一貫として提供し、地域社会を健康面から支えてまいります。本年もよろしくお願いいたします。

特定医療法人社団 勝木会

理事長 勝木 保夫

CONTENTS

- 理事長 年頭のご挨拶
- 石川県ワークライフバランス企業知事表彰／PRIDE認定／新任医師の紹介
- 令和7年度 いしかわ婚活応援優秀企業知事表彰／第27回 地域医療連携連絡会開催
- DE&Iを推進／海岸プロギング活動／病院機能評価 認定更新／小松市消火競技大会に参加／職員資格取得のご報告



石川県ワークライフバランス企業知事表彰 受彰

このたび、特定医療法人社団勝木会は、石川県による「石川県ワークライフバランス企業知事表彰」を受彰しました。

12月5日(金)、石川県庁で開催された表彰式において、馳浩県知事より表彰状を授与していただきました。

この表彰は、働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組む企業・団体を表彰するもので、当法人のこれまでの取り組みが評価されたものです。



<評価された主な取り組み>

1. 所定外労働削減のための多様な取り組み

- ・勤怠管理システムの導入による労働時間の可視化と適正管理
- ・管理職研修でサービス残業禁止、適正な時間外労働勤務手当の支給啓発を行い、労使ともに就業時間管理の意識が向上
- ・月45時間以上の所定外労働で上司との面談を実施

2. 年次有給休暇取得促進

- ・半期ごとに取得状況を集計し、経営会議でフィードバック
- ・新人研修、管理職研修で取得状況の周知及び取得啓発
- ・時間単位年次有給休暇の導入(法は日単位)

3. 場所・時間にとらわれない働き方

- ・テレワーク制度(事務職)の導入

4. 働き方の見直しに資する取り組み

- ・勤続5年ごとに6日間の有給休暇(ボーナス休暇)と報奨金を支給
- ・不妊治療休暇制度の整備(5年間で最長1年取得可)
- ・病欠制度を設け30日間給与全額支給
- ・個々の事情に応じた柔軟な雇用形態を実施

5. 育児休業の取得促進

- ・男性の育休取得促進のため、取得事例をグループウェアにて発信し、100%取得を目標に推進
- ・男性の育児休業取得実績20名(R4~R6)

6. 次世代育成支援

- ・食学生の仕事体験の受け入れを実施
- ・地域の公民館へ出前講座、海岸の清掃活動を実施

いしかわ婚活応援優秀企業知事表彰 受彰

このたび、特定医療法人社団勝木会は、石川県による「いしかわ婚活応援優秀企業知事表彰」を受彰しました。12月10日(水)、石川県庁で開催された表彰式において、馳浩県知事より賞状を授与していただきました。表彰式では勝木保夫理事長が受賞企業を代表して挨拶し、謝辞を述べるとともに、今後も職員が働きやすい環境づくりに取り組んでいく決意を表明いたしました。

当法人では、結婚を希望する職員の結婚支援のために、以下の取り組みを行っています。

1. 結婚支援に関する情報周知

- ・グループウェアや、休憩室へのチラシ設置での周知

2. ライフプランについて考える機会

- ・資産形成セミナーを実施

3. 企業内外での交流

- ・職員向け交流アプリを導入し、趣味や休日の過ごし方など、業務内外での人となり分かるような情報を開示する場を設けることで社内交流を促進
- ・職員サークルへの活動費補助

- ・日帰り旅行、ボウリング大会の開催
- ・取引先企業との交流イベントに参加

4. その他

- ・独自の結婚休暇(6日間)や結婚祝金制度を設ける
- ・春にはお花見ウォークを開催し、家族を含めた交流を促進



今後も職員一人ひとりが仕事と私生活の両立を図りながら、いきいきと働ける環境づくりに力を入れてまいります。

第27回 地域医療連携連絡会を開催しました

11月7日(金)ルートイングランティア小松エアポートにて地域の医療機関・介護施設の皆様をお招きし、第27回地域医療連携連絡会を開催いたしました。

順天堂大学の武田裕子教授を講師にお迎えし、「医療・介護・福祉関係者に知ってほしいSOGIの基礎知識」について講演いただきました。

南加賀地域を中心とする連携医療機関や介護施設などの方にご参加いただき、地域における当院の機能や医療連携について理解を深めました。

今後も、顔の見える関係づくりを大切にしながら、地域の皆様と連携し、より良い医療提供体制の構築に努めてまいります。

◆開会の挨拶 院長 勝木達夫

◆坪川医師の紹介

◆リレートーク

◎「ひざ関節に対する再生医療」

整形外科 高橋祐樹

◎「2025年 病院機能評価S

身体拘束率を激減させた当院での取り組み」

リハビリテーション科 池永康規

◆講演会

「医療・介護・福祉関係者に知ってほしい

SOGIの基礎知識」 順天堂大学 武田裕子教授

◆閉会の挨拶 小松市医師会 会長 村井裕先生



新任医師の紹介

2025年10月1日就任

新しく着任した医師を紹介します。
どうぞよろしくお願いいたします。



麻酔科

院長

坪川 雅子

●つばかわ まさこ

Message

この度、赴任してまいりました麻酔科の坪川雅子と申します。

普段は主に手術室の中で仕事し

ておりますので、手術を受けられる患者さん以外の皆様にはお会いする機会は少ないかもしれません。

麻酔科医として安心して安全な周術期を患者さんに過ごしていただけるように努めてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

DE&Iを推進しています

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョンとは、多様な人材を活かし、その能力が発揮できるようにする取り組みです。

当院ではその一環として、特定技能外国人*を看護補助者として受け入れています。昨年11月にバングラデシュ人、今年10月には新たにインドネシア人2名を迎えました。

*「特定技能外国人」とは、「相当程度の知識または経験を必要とする技能を要する業務に従事する外国人向け」の在留資格を許可されて働く外国人を指します。労働不足を補う日本の国策として推進され、現在30万人以上の方が働いています。



海岸プロギング

小松市の草野海岸でプロギング活動を行いました。

プロギングとは、ジョギングを行いながらゴミを拾うフィットネスのことです。

当日は勝木グループの職員やその家族を含め27名が参加し、合計160kgのゴミを回収することができました。

今後も健康維持と環境保護を両立させ、持続可能な活動を続けていきます。



病院機能評価 認定更新

「病院機能評価」とは、医療の質や安全の向上を目的として、一定の基準に基づき医療機関を評価し、改善を促す仕組みです。

(公財) 日本医療機関機能評価が実施し、中立・公正な立場にある評価調査者(サーベイヤー)によって行われる、医療機関対象の第三者評価です。当院はこの審査を受け、認定証が交付されました。これからも認定病院として、地域の皆様に安心・安全、信頼と納得の得られる医療サービスの提供を目指して取り組んでまいります。

小松市消火競技大会に参加しました

10月8日(木)12:30~16:00、第51回消火競技大会が行われ、YMCから2チームが出場し、実戦初期消火操法のスピードを正確性を競いました。

◆一般・ホテル・病院・福祉施設の部

やわたAチーム 71秒61

(山田健斗さん・中田雅貴さん・田中大暉さん)

やわたBチーム 72秒56

(角谷聡太さん・吉田莉緒さん・辻花鈴さん)

2チームとも惜しくも上位入賞とはなりませんでしたが、限られた練習時間のなかで、どのチームも真剣に取り組む、消火技術や安全への意識を高める貴重な機会となりました！



職員資格取得のご報告



医療経営士 2級
山田 竜也



医療経営士 3級
北本 淳志



心臓リハビリテーション
指導士
森山 峻太



日本睡眠学会
専門検査技師
北森 友里恵

勝木会SDGs宣言

SDGsを推進し、
「誰も取り残さない」
「住み続けたい」
「共創する医療介護福祉
そして健康増進」
の地域づくりのために

勝木会は **SDGs** に
積極的に取り組みます。



この印刷物は、さとうきびの搾りかすから作られたバガスパルプ配合のファインペーパーを使用しています。